

粟田口霑笛竹（澤紫ゆかりの咲分）

序

弄月庵主人

青空文庫

今を去る三十年の昔、三題だばなし噺という事一時の流行物となりしかば、当時圓朝子が或る宴
 席おいに於て、國綱くにつなの刀、一節切ひとよぎり、船人せんどうという三題を、例の当意とういそく即妙そくみょうにて一座の喝
 采を博したるが本話の元素たり。其の時聴衆咸言みなつて謂いえらく、斯かばかりの佳作を一節切
 の噺はなし捨すてに為なさんは惜おしむべき事ならずや、宜敷よろしく足らざるを補あつぱいなば、適あつぱれ席上の呼び物
 となるべしとの勧めに基もとづき、尚金森なおかなもりに充分の枝葉しやうを茂もらせ、國綱くにつなに一層の研とぎを掛け、一
 節切ひとよぎりに露取つゆとりをさえ添え、是に加うるに俳優澤村さむらしよざん曙山あけが逸事もつを以てし、題はなして花菖
 蒲うぐいす沢の紫と号せしに、この紫や朱あけより先の世の評判あけを奪あい、三十年後の今日迄こんにちまで依然と
 して其の色を変ぜざるのみか、一度ひとたびやまと新聞あに写し植字うゑたるに、這こも復また時期あに粟田
 口ち鋭ふえき作意ふえと笛竹ふえたけの響あき渡り、恰あたも船人せんどうの山あに登あるべき高評あなりしを、書房ふみやは透すかさ
 ずこの船人の脇わき脇わきを押おす事を許あされたりとて、自己おのれをして水先見みずくさよと乞こうて止あまねば、久
 しく採あらぬ水荳みずくさの禿ちびたる掉さおを徐あら採り、ソラ当りますとの一言いちげんを新版しんぞ発兌おの船唄ふみに換
 えて序とす。

青空文庫情報

底本：「圓朝全集 卷の三」近代文芸資料複製叢書、世界文庫

1963（昭和38）年8月10日発行

底本の親本：「圓朝全集 卷の三」春陽堂

1927（昭和2）年1月28日発行

※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。

また、総ルビの底本から、振り仮名の一部を省きました。

底本中の「其」は、「其の」としました。

入力：小林繁雄

校正：門田裕志、仙酔ゑびす

2010年10月16日作成

2011年2月13日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

栗田口霑笛竹（澤紫ゆかりの咲分） 序

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 弄月庵主人

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>